

望診 爪(文献資料)

I、『素問』、『靈樞』

①「肝之合筋也、其榮爪也」(『素問』五藏生成)

「肝の合※は筋なり、其の榮※は爪なり」

(肝と対応する五主[五体]は筋であり、肝の精華が体外に現れている所は爪である。)

※合一合は配当することであり、内外が対応すること。五臓は体の内側にあり、五主[五体]は体の外側にあつて、各五臓と各五主が対応している。肝と対応関係にある五主は筋である。

※榮一榮は榮華のことで、各五臓の精華は体表の各器官に現れる。肝の榮は爪であり、爪の変化によって肝の病変を知ることができる。

②「肝者、・・・其華在爪、其充在筋。」(『素問』六節藏象論)

「肝なる者は・・・其の華※は爪に在り、其の充※は筋に在り。」

(肝は筋を主り、爪は筋余なので、肝気が旺盛であれば、爪は艶やかで、筋力は充実している。)

※華一華は外に表れた光沢、榮華、徴候を示す。爪は肝の榮華が現われる部位

※充一筋は肝の機能の充実ぶりを示している組織である。

③「肝応爪、爪厚色黄者、胆厚、爪薄色紅者、胆薄、爪堅色青者、胆急、爪濡色赤者、胆緩、爪直色白無紋者、胆直、爪悪色黒多紋者胆結也」(『靈樞』本藏)

「肝は爪に応ず。爪厚く色黄なる者は、胆厚し。爪薄く色紅なる者は、胆薄し。爪堅く色青き者は、胆急なり。爪濡れ色赤き者は、胆緩なり。爪直にして白く紋無き者は、胆直なり。爪悪く色黒く多紋の者は胆結なり。」

(肝は内では胆と配合関係にあり、外では爪と対応している。厚く黄色い爪は胆が厚いことを示しており、薄く紅い爪は胆が薄いのである。堅く青色の爪は胆が緊張して縮んでいることを示しており、しっとりとして柔らかで赤い爪は胆は緩んでいることを示している。爪が真直ぐで色が白く斑点が無いのは胆気が伸びやかで順調であるが、爪の形が悪く色が黒くて斑点の多いのは、胆気が鬱結して伸びやかさが失われたことを示している。)

④「多食辛、則筋急而爪枯。」(『素問』五藏生成)

「多く辛を食(くら)えば、則ち筋急にして爪枯る。」

(辛味は肺を益するので、辛味を過食すると肺はますます旺盛となって肝を抑え込んでしまう。そのような状態では筋脈が緊張して引きつるようになり、爪もまた乾燥してしまう。)

⑤「肝熱者、色蒼而爪枯。」(『素問』痿論)

「肝熱する者は、色蒼くして爪枯る。」

(肝に熱があるものは、顔色が青くて爪もまた乾燥してしまう。)

⑥「手太陰氣絶、則皮毛焦、太陰者、行氣温于皮毛者也、故氣不榮、則皮毛焦、皮毛焦、則津液去皮節、津液去皮節者、則爪枯毛折。」(『靈樞』経脈)

「手の太陰の氣絶せば、即ち皮毛焦[やつ]る。太陰は氣を行[めぐ]らせ皮毛を温むる者なり。故に氣榮せざれば則ち皮毛焦[やつ]る。皮毛焦[やつ]るれば則ち津液皮節を去る。津液

皮節[皮膚や関節]を去れば則ち爪枯れ毛折る。」

(手太陰肺經の經氣が絶えると、皮毛が枯れてやつれる。太陰經は肺に属し、經氣をめぐらせて皮毛を温めるので、太陰の經氣が皮毛を養わなくなると、皮毛は必然的に枯れてやつれる。皮毛がやつれると、津液が皮膚や関節で不足する。津液が皮膚や関節で不足すると、爪が枯れ毛が折れる状態が現れる。)

II、『四診抉微』卷二 診爪甲(清代 1723年 林之翰撰)

「『脈經』曰、病人爪甲青者死、又曰、爪甲白者不治、又曰、爪甲下肉黒者八日死、『医灯続焰』※云、爪甲下肉黒有瘀血、亦有下出能生者、又曰手足爪甲青、或脱落、呼罵不休、筋絶八日死」

※『医灯続焰』(いとうぞくえん)：清代 1864年 嚴燮(げんしょう)撰

III、『望診遵經』卷下 爪甲望法提綱(清代 1875年 汪宏撰)

竊聞爪之生。髮之長。營衛之行。無頃刻止。且爪者。筋之餘。膽之外候也。靈樞曰。膽應爪。爪濃色黄者膽濃。爪薄色紅者膽薄。爪堅色青者膽急。爪濡色赤者膽緩。爪直色白無約者膽直。爪惡色黒多紋者膽結。蓋膽者肝之腑。爪者肝之華。故以爪候膽也。然候膽者言其常。而診病者論其變也。其變維何。爪甲青者多凶。爪甲赤者多熱。爪甲黄者疸病。爪甲白者寒證。爪甲黒者。或因血瘀而痛。或因血凝而死。要之潤則吉。枯則凶。爪色雖殊。其變皆決於此矣。諸書謂痺病骨痛爪枯者。足少陽血氣皆少。色蒼爪枯者肝熱。爪甲黒。乾嘔面青。肢厥冷者病凶。病患爪甲白者不治。爪甲青者死。爪甲下肉黒者。八日死。手足爪甲青。呼罵不休者筋絶。九日死。小兒爪甲青黒。忽作鴉聲者肝絶。小兒咬爪甲者。乳少成疳。心病為瘡。心煩甚。欲得清水。反寒多熱不甚。若其人本來心性和雅。今忽弊急。言未竟便住。以手剔腳爪。此人心死。名曰行尸。是皆診爪之目也。能參合而行之。庶無虛虛實實之弊矣。

IV、『形色外診簡摩』卷下 外診雜法類(清代 1894年 周学海撰)

診爪甲法

肝之華在爪，爪為筋之餘。《內經》。

肝熱者，色蒼而爪枯。肝絶者，爪甲青而怒罵不休。《內經》、《脈經》。

肝應爪，爪濃色黄者，色謂爪下血色。膽濃。爪薄色紅者，膽薄。爪堅色青者，膽急。爪濡色赤者，膽緩。爪直色白、無約者，膽直。爪惡色黒多紋者，膽結也。《內經》。

身黄、目黄、爪甲黄者，疸也。爪甲青者，厥也。《內經》、《脈經》。

手太陰氣絶，爪枯毛折。《內經》。……

按：爪内應筋，爪之枯潤，可以占津液之虚實也。至於爪下之血色，亦與面色同法。按之不散，與散而久不復聚者，血死之徵也。

按：爪内應筋，爪之枯潤，可以占津液之虚實也。至於爪下之血色，亦與面色同法。按之不散，與散而久不復聚者，血死之徵也。

V、『六診提要』(梁巖・蔵秘 水野道貞筆記、石原保秀校刻 和漢医学醫學社 1935 年刊、医道の日本社 1975 年復刻)

(医道の日本社注：「六診」とは「望聞問切」の四診に、後藤良山が「按腹」と「視背」を加え六診としたもので、本書は江戸時代末期の比較的進歩した和漢医学の診法の奥儀を語ったものとして貴重な書である。浅川注：本書の版元、出版年は不明。江戸時代末期の書と思われる。)

(二)望甲紋澤折剝

△爪甲は紋澤堅剛を貴び、枯白軟脆を嫌ふ。然れども少小絹帛に長ずる者は、爪甲常に軟薄なり。平素糞土に塗(マミ)るる者は、爪甲多く堅厚なることを知るべし。

△醫の指頭を以て、病人の爪を按ずるに、爪下血去ること速に、又指頭を放てば、血來ること影響の如く速なる者は、血の運行盛なるなり。來去遅き者は之に反することを知るべし。

△爪甲蒼白、全く色澤を失ひ、或は平かに、或は凹陷、或は剝げ、軟薄枯萎する者は、黄胖※の候なり。假令未だ平凹折剝に至らざるも、爪甲一點蒼白なること、指頭を以て爪を押へ爪下血去る状の如き者も、亦黄胖の兆なることを知るべし。

△諸病共に氣血衰へたる者は、爪甲一面枯白のもの多きも、誤って黄胖と爲すべからず。黄胖は爪甲一面枯白に至る程なれば、必ず平凹折剝を爲さざるもの無し。諸病氣血衰ふる者は、一面枯白に至るも、爪甲の形容常に變ることは無きものなり。能く之を知りて治療を誤ること莫かるべし。

△水氣病、脚氣腫滿等、一種の諸症、黄胖と疑似するものあり、兎角治療を誤るものなり。爪甲を以て能く辨別し、錯置の患を免るべし。

△爪甲紫色は血凝滯の象なり。直中傷寒、霍亂吐下、諸陰寒、手足厥冷の症、及び瘧疾將發、怕寒振慄の際、竝に霜雪を冒して旅行のもの、皆爪甲紫色を爲すものと知るべし。

△爪甲灰白、全く血色無く、未だ枯萎に至らざるものは、當日或は四五日以前、乃至十日の間に、大に亡血せしことは無きやと尋ぬべし。

△小兒の久病、氣血衰弱の者は、爪甲未だ十分に堅剛ならざる故、枯萎して縦理能く見(アラハ)るゝものなり。大人は爪甲能く堅まりたる故、縱令長病にて爪甲枯白に至るとも、小兒の如くにはならざるものなり。

△陰寒の症に非ずして、爪甲紫色の者は、痢疾、瘀血凝滯の症にしては無きやと心を附くべし。

※黄胖(おうはん)：「◎貧血して動悸強き病。◎俗に“坂の下”という。?◎萎黄病。◎身体疲勞し月経無く、面色黄色く心悸亢進し胃弱に兼ねて食欲なく大便秘結するものにして、多く青年期の処女に発す。◎浮苦病。◎室女病。処女病に同じ。」(『漢方医語辞典』西山英雄編著 創元社 1976 年刊)

VI、『南北相法』(水野南北 江戸時代 1757-1834 年 現代語訳校閲 小林三剛)

「爪について」

一、爪は身体の強弱をあらわす。また精力の吉凶を知るところでもある。

二、爪は厚くて潤いのある者は精力が強く病気になることも少ない。

- 三、爪が厚くても形の悪い者は、病気になるにくいがよい相ではない。
- 四、爪の薄い者は生まれつき精力が弱い。
- 五、爪が薄くてもその根元に白い小爪のある者は弱さが補われるであろう。
- 六、爪が鏡のように光って見える時は物事がうまく運ばない。
- 七、爪に縦筋のある者は精力が弱く、また爪が厚くて常に縦筋のある者はよくない。
- 八、爪が剥がれるのは血が薄くなっていることを示す。また心がいらついている相である。
- 九、爪の根本に白い小爪のある者は身体強健で精力も旺盛である。
- 十、小爪が枯れたように薄れる時は必ず物事が思うにまかせずうまくゆかない時である。
- 十一 爪が曲がったように内側に反る者は常に気分が暗く身体もどことなく弱いため出世も遅れる。しかしこれは一概には言えないのでよく考え判断しなければならない。
- 十二 爪が潰れたようになってるのは身体が弱く運勢もよくないことを示す。
- 十三 爪が丸形の者は大きな発展は望めないが愛嬌の相である。
- 十四 爪がすらりとまっすぐに伸びている者は運勢がよい。

東嶽の問「爪が厚くて潤いのある者は身体が強健であると言われるのは何故ですか。」

答「爪は骨が余って出た部分なので、腎臓と関係が深い。したがって爪が厚く潤いのある時は腎臓も充実して盛んであることを示す。ということは五臓六腑もすべて健全であり身体が強健であることを示す。爪の剥がれるのは腎臓と骨とが枯れたようなものであって、したがって精力も弱まっているのである。」

問「爪の根本の白みが薄れると物事がうまく運ばないというのは何故ですか。」

答「小爪の白みは精力の強さを示すからその白みのあふれる時は心も気力も充実するので心身全体が快調であるという吉相である。またその白みの薄れる時は精力の衰えの兆であり、自然と気力も衰えてぱっとしない。したがって物事がうまく運ばないのである。」

問「爪が丸い形の者は大きな発展は望めないが愛嬌があると言われるのは何故でしょうか。」

答「爪は腎臓にとって苗の如きものであって水を必要とする。水というのは上に昇るのではなく下へ降りるのを常とする。したがって運勢の上昇は望めない。しかし水は人が日常に用いるものであって一日も欠かすわけにゆかない。また貴賤を問わず皆が一様に愛用するものである。それ故に愛嬌があると言う。」

問「爪がすらりとまっすぐに伸びている者は運勢がよいというのは何故ですか。」

答「爪は肝臓に属し、腎臓に通じている。すらりとまっすぐに伸びているのは樹木が勢いよく伸びているのに似ている。故に運勢発展の根柢があると見るのである。しかしそれ以上の深いことは慎重に考えなければいけない。ここには表面的な一通りのことを示しただけである。」

VII、『漢方医学の基礎と診療』（西山英雄著 創元社 1969 年刊）

二、望診と舌診

(一) 望診

〔6〕 爪の色、紋沢、折剥

爪はやや卵円形で、縦線が少なく、淡紅色(桜色)で光沢があり、爪半月(爪の根部の白い部分)は鮮明で、全体が適度に穹隆(きゅうりゅう)しているものが、無病健康の徴である。

㊶爪半月の大きいのは血液循環の良好を示し、小さいのはこの反対である。

㊷縦線の多いのは血液循環の悪い証拠で、からだの弱い徴候である。爪の脆いのも同様。

㊸爪に横筋があるのは肉体的の苦痛や精神的の苦悩のあったことを表わす。爪はおよそ九〇～一〇〇日で全く新しく生え替わるから、横筋の一段と二段との間隔を一〇〇日で割って計算すると、およそ何か月何日頃に肉体上や精神上の苦痛があったかを推定することができる。

㊹爪に白い斑点の現われるのは健康の衰えた証拠である。

㊺長い爪は健康を表わすものではなく、縦線があればなおさらである。

㊻短い爪は心臓の弱いことを示す。爪半月が小さいか、見えない場合も、同様である。

㊼薄い小さな爪は精力の乏しい病身であることを示す。

㊽爪が反っているのは寄生虫のためで、爪甲が指で圧したように陥没して薄質になり、貧血して蒼白く、脆弱になったのは十二指腸虫が寄生している場合か、重症の心臓病である。また寄生虫のために爪を噛む癖がつくこともある。

㊾爪甲に血色のない蒼白いものは貧血を示し、暗赤色であるのは瘀血証である。

㊿爪を押さえて貧血させ、その色が旧に復す時間がおそいのは貧血か瘀血証である。

㊿爪に光沢のない薄質なのは虚弱体質である。しかも斑紋があつたり縦線があつたり、折れたり、剥がれたりしているものは、この部にはいる。

VIII、総合南東北病院(ネット検索)

爪の形状	考えられる病症
バチ状爪 (時計皿爪)	主に先天性の心臓病や慢性肺疾患の人にみられます。血液循環が悪くなって指先に血液が溜まってしまうのが原因、と考えられています。肺がんでは自覚症状より早く、爪の異常に気付いて疾患が発見されることもあります。
スプーン状爪	爪の真ん中がくぼみ、爪甲が薄くなってスプーンの様になります。長い間に変形していくもので鉄欠乏性貧血が考えられ、一定期間の鉄剤を服用することで治ります。また甲状腺機能亢進症が原因のこともありますので、首に腫れを伴う場合は内科受診を。
横溝	栄養障害や強い精神的ショックを受けた時などに血流が悪くなり、一時的に爪の発育が止まることで起こる、といわれています。爪の根元から溝までを測って、それを 0.1mm (1日の伸びる爪の長さ) で割れば、体調が乱れた時期が分かります。
爪の変色	爪甲が白く濁って、すりガラスの様になった場合は慢性腎臓障害や肝硬変が考えられます。蒼白の場合は鉄欠乏性貧血やレイノー病かもしれません。暗赤紫色はチアノーゼ状態になっていて心臓・肺疾患・膠原病の人に見られます。糖尿病では足の爪だけに変色が見られます。

IX、秋葉原スキンクリニック院長 堀内 祐紀(ネット検索)

爪の異常	考えられる病症
爪が割れる (欠ける)	爪が横や縦に割れたり、欠けたりすることがあります。爪が縦に割れた状態を「爪甲縦裂症(そうこうじゅうれつしょう)」といい、爪の根元まで割れている場合と爪の先端のみ割れている場合があります。爪は、水仕事による乾燥や除光液の使用などで爪の水分が失われたり、妊娠や授乳、加齢によって爪の主成分であるタンパク質「ケラチン」が不足したりすると、もろくなって割れやすくなります。爪甲縦裂症の原因ははっきりわかっていませんが、甘皮とも呼ばれる「爪上皮(そうじょうひ)」の異常によって起こることがあります。爪甲縦裂症は、ステロイド含有外用薬を用いて治療しますが、改善しない場合は爪の根元に腫瘍がある可能性も考えられます。
爪に縦線 (筋)が出る	一般的によくみられる症状です。爪甲縦条(そうこうじゅうじょう)とも呼ばれます。加齢が原因となるため、20代では目立ちにくいことが多いですが、50代頃から増加し、症状が目立ちやすくなるでしょう。老化現象のひとつなのであまり心配する必要はありませんが、進行すると爪が縦に割れやすくなります。
爪に横線 (筋)が出る	爪母になんらかの障害が起こって爪甲の成長が一時的に抑制され、横線が発生することがあります。横線の幅は障害が生じた期間を、横線の深さは障害の強さを示しています。爪を噛む、外部から衝撃が加わるなどの外傷によって横線や横溝ができることもあります。その場合は外傷を受けた爪のみに生じます。すべての爪に横線が1本出ることを「ボー線条」といい、発熱性疾患や感染症、糖尿病、薬剤の影響、出産、亜鉛欠乏症などが原因で起こります。
爪がでこぼこ	波を打つように、爪の表面に次々に横方向の溝ができていく状態を、「波板状爪(洗濯板状爪)」といいます。健康な人にも起こりうる症状で、爪母を覆う皮膚をほかの指でおさえる癖がある人に多く、特に手の親指によくみられます。また、先の尖ったものでつついたようなでこぼこができることもあり、そうした状態は「点状陥凹(てんじょうかんおう)」と呼ばれます。点状陥凹は、乾癬や円形脱毛症と関連して生じることもあります。
爪が薄い	低色素性貧血や甲状腺機能亢進、末梢循環障害、先天性角化異常症など、爪母になんらかの病気が影響して変化が生じ、爪が薄くなることがあります。また、一部の爪甲が薄くなって縦に割れやすくなる扁平苔癬(へんぺいたいせん)やエリテマトーデス、凍瘡(しもやけ)などが爪母に影響を与えて爪が薄くなるケースもみられます。
爪が二枚に分かれる	いわゆる「二枚爪」のことで、医学的には「爪甲層状分裂症(そうこうそうじょうぶんれつしょう)」といいます。爪の先端のほうの表面が薄く層状にはがれます。原因としては、爪の割れと同様に、爪の水分量の低下や栄養不足が関係します。水分が失われた爪の先に爪切りなどで大きな力が加わると、二枚爪を生じやすくなります。そのため、夏よりも、空気が乾燥する冬に多くみられます。また、鉄欠乏性貧血が原因で起こることもあります。

爪が濁る、白くなる	爪白癬（爪水虫）になると、爪の色が濁って分厚くなります。カビの一種である白癬菌に感染することで起こり、特に足の爪に多くみられます。また、足の親指の爪が濁って分厚くなり、表面がでこぼこして弓型に曲がることもあります。そうした状態を、爪甲鉤彎症（そうこうこうわんしょう）といいます。外傷や合わない靴などが原因で発症します。そのほか、手の爪では、指先から爪が浮き上がって白くみえる爪甲剥離症（そうこうはくりしょう）が生じることがあり、圧倒的に女性に多く発症します。爪甲剥離症は、接触皮膚炎やカンジダ感染、尋常性乾癬などが原因となります。このほか、尿に大量のタンパクが排出されるネフローゼ症候群、貧血、糖尿病などによっても生じますが、原因が不明なこともあります。
爪に白い斑点が出る	爪に点状の白斑ができる現象で、点状爪甲白斑（てんじょうそうこうはくはん）と呼ばれます。外傷などで爪に成長異常が起こることで生じますが、過度に心配する必要はないでしょう。
爪が黄色になる	爪の栄養障害や感染症、柑皮症（かんぴしょう）、黄疸（おうだん）などにより爪が黄色くなることがあります。白～黄色っぽく濁った場合は爪白癬の可能性が、すべての爪が黄色っぽくなり、爪甲の成長が抑制されている場合は、黄色爪症候群（おうしょくそうしょうこうぐん）※の可能性が考えられるでしょう。
爪が緑色になる	細菌の一種である緑膿菌に感染すると、爪が緑色に変化します。湿度の高い環境を好む細菌であり、爪甲剥離症を生じている場合は、爪甲の下に入って繁殖することがあります。また、スカルプチュアネイルやジェルネイルなどの付け爪により、爪甲とのあいだに隙間が生じて湿度が高くなることで、緑膿菌に感染しやすくなるでしょう。

※柑皮症：柑橘類の過剰摂取による皮膚の黄染。

※黄色爪症候群：すべての爪が黄色っぽくなり、伸びない。黄色爪、下腿から足背にかけてのリンパ浮腫、呼吸器病変(胸水など)の3徴候を呈する稀少症候群。爪は黄緑調で肥厚し巻き爪状になり、発育遅延が目立ち、爪甲剥離症になることも多い。原因不明。

※総合南東北病院と秋葉原スキンクリニック院長 堀内 祐紀の文章はネットからの無断引用